

家庭を守る 防災マニュアル

Disaster Prevention Manual



神戸市

火災対策

建物火災の約6割は私たちが暮らす住宅で発生しています。

住宅火災のほとんどはちょっとした不注意から発生しており、日頃の心がけ1つで発生を防ぐことができます。

長い時間を過ごす“我が家”を世界で一番安心できる場所にしましょう。

身近に潜む 火災の原因 ～忘れていませんか？火の元チェック～

たばこ

たばこの火などの小さな火源は、消したつもりでもくすぶり続け、数時間経ってから燃え上がることがあります。たばこの火をきちんと始末するのは喫煙者にとって最低限のマナーです。

✓ チェック!

- 寝たばこは絶対にしない
- 吸殻は水を入れた灰皿に捨てる
- 灰皿は定期的に掃除し、吸殻を溜めない



コンロ

コンロ火災の中でも毎年多く発生するのが「天ぷら油火災」です。他の家事をしたり、かかってきた電話に出ているうちに火をつけていることを忘れ、気付いたときには鍋から炎が上がっているという事例がほとんどです。

✓ チェック!

- コンロに火をつけたらその場を離れない
- コンロの周りに燃えやすいものを置かない、布巾などを干さない
- 凝固材を使用するために油を加熱している際もその場を離れない
- 過熱防止装置の付いたコンロを使うと安心!



危険な天ぷら油火災の消火方法

絶対にしないでください

座布団や毛布をかける

一瞬火が消えたように見えますが、座布団や毛布に火が燃え移ります。



水をかける・野菜を入れる

燃えている油に水をかけると水が一気に沸騰して水蒸気になり、はずみで油が飛び散ります。



鍋を移動する

持ち出そうとして途中で鍋を落としたり、油をこぼしてしまっただけで負傷、延焼拡大します。



消火には消火器を使用しましょう。詳しくは3~4ページへ

放火

火災原因として多いのは「放火・放火の疑い」です。家の周りに置かれた不用品やごみステーションに出されたごみ、鍵の開いている物置の内部への放火などが発生しています。「放火は防げない」と諦めるのではなく、家庭・地域が一体となって「放火されにくい環境」を作ることが大切です。

✓ チェック!

- 家の周り、アパートの階段下などに燃えやすいものを置かない
- ごみは収集日の朝に指定袋に入れて出す
- 物置や空き家には鍵をかける
- 家の周りを明るくする
- 地域で協力してパトロールをする
- 防犯カメラやセンサーライトを設置する



電気

配線のショートやトラッキング現象、長年使用していたことによる経年劣化などが原因で火災が発生しています。

トラッキング現象とは？ 長期間プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの間に埃が溜まります。その埃が湿気をおおると、通常は電気を通さないプラグの刃と刃の間で小さな放電が繰り返されて炭化します。そこにやがて電流が流れるようになり、発熱して出火します。電気製品の電源が入ってなくても出火することがあります。

✓ チェック!

- タコ足配線はしない、コードを束ねて使わない
- コードの許容電流を確認し、それを超えて使用しない
- コンセントやプラグは定期的に乾拭きし、埃を溜めない
- 電気コードを踏まない、家具などの重いものを上に置かない
- 本来の使用目的と違う使用をしない
- リコール対象商品になっていないか確認する
(消費者庁のリコール情報サイト <https://www.recall.caa.go.jp/index.php>)



カセットボンベ・スプレー缶

カセットボンベや殺虫剤、制汗剤、消臭剤などのスプレー缶には、可燃性ガスが含まれるものが多くあります。使用方法や保管場所を誤れば爆発して火災につながることもあり大変危険です。

✓ チェック!

- 中身の排出は火気のない風通しのいい屋外でする
- ストープや火気の近くにおかない
- カセットコンロを2台以上ならべて使わない
- スプレー缶は、中身を使い切って、穴をあけずに他のごみと分けて廃棄する



ストーブ

ストーブの近くに燃えやすいものを置かないのはもちろんですが、火をつけたまま給油や移動を行うと、こぼれた灯油に火がついたりして火災が発生します。最近普及している電気ストーブなどは、炎が目に見えないため火災は起こらないと思いがちですが、電気ストーブなどでも火災発生の危険性はあります。

✓ チェック!

- 電気・ガス・石油
 - 寝るときは必ず消す
 - ストープの上で洗濯物を干さない
 - カーテン、新聞紙などの燃えやすいものの近くで使わない
 - 近くにスプレー缶を置かない
- 電 気
 - 使用後はプラグを抜く
- 石 油
 - 給油をするときは火を消す
 - カートリッジタンクは蓋がきちんと閉まっていることを確認してからセットする
 - 火の気のないところで給油する



火遊び

子どもは好奇心が強く、大人が火を使っているのを見て自分も使ってみたいという気持ちになることがあります。また、炎や花火などの「動くもの・美しいもの」に強い興味を持つのも子どもの特徴です。しかし、子どもは火の危険性や安全性までを考えることができません。

✓ チェック!

- ライターやマッチは子どもの手の届かない、見えないところに置く
- 花火など、火を取り扱う際は必ず大人が付き添う
- 子どもに火の恐ろしさを教える



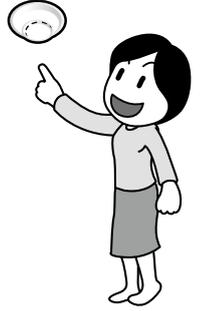
命を守る 3つの住宅用防災機器

アイテム

1

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは火災の煙を感知し、警報音や音声でいち早く火災を知らせてくれる機器で、すべての住宅に設置が義務付けられています。(自動火災報知設備やスプリンクラー設備がある建物は除く)



?

どこに設置するの？

寝室と台所、また、上階に寝室があるときは**階段室**に設置が必要です。ただし、火災はどこで起きるかわかりませんので、リビングなどにも設置しておく安心です。

?

維持管理はどうするの？

本体の点検ボタンを押すかヒモを引くなどし、正常に作動するか確認しましょう。また設置から10年以上経過している場合、新しいものへ取りかえましょう。

住宅用火災警報器の割引などが受けられる制度について(裏表紙参照)

設置して良かった！【事例1】

エビフライを揚げている最中にかかってきた電話をとり、そのまま話に夢中になっていました。煙を感知した住宅用火災警報器の警報音に気付いて鍋を見ると煙が！炎があがる前に火を止めることができました。

設置して良かった！【事例2】

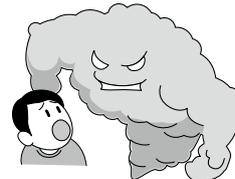
就寝中に、物置として使用している和室で火災が発生しました。この和室は以前は寝室だったので住宅用火災警報器を設置しており、火災を感知した住宅用火災警報器の警報音で目覚め、初期消火をおこなって火災を消し止めることができました。

煙の怖さ

火災で怖いのは炎より煙です。煙には一酸化炭素などの有毒ガスが多く含まれています。



煙のスピードは横方向に毎秒約1m、上昇時には毎秒3~5mといわれています。すみやかに避難しましょう。



煙は上方へ上がる性質があるため、下の方が煙は薄く空気が残っている可能性があります。タオルやハンカチなどで口や鼻をおおい、できるだけ姿勢を低くして避難しましょう。



アイテム

2

住宅用消火器

火災の発生に気付いたときに初期消火をすることができれば、延焼を防ぎ、被害を最小限に抑えることができます。住宅用消火器を設置し、使い方もマスターしておきましょう。

!

住宅にオススメ！強化液消火器

消火薬剤に強化液を使用しているものは冷却効果があるため、天ぷら油火災などの住宅で発生する火災の消火に適しています。また、粉末消火器に比べて消火薬剤が拡散しないため、視野が妨げられることなく、確実に火元をおさえることができます。

?

どこに置いておけばいいの？

台所など、普段から火気を取り扱う場所に設置しましょう。また、玄関などにも設置しておく、火災の発生に気付いた近隣の方が初期消火をする際に役立ちます。

廃棄消火器については、処分方法などを紹介しますのでご相談ください。



アイテム

3

防災品

住宅火災の多くは、たばこやコンロなどの小さな火種が布団や衣類などの繊維製品に着火し、延焼拡大していきます。防災品は炎が触れても燃え上がりにくい素材が使われているので延焼拡大を抑える効果があります。

!

こんなものが防災品！

エプロン・アームカバー・シーツ・布団カバー・枕カバー・パジャマ・カーテン・バイクカバー

?

どこで買えるの？

ホームセンターや家具店、インターネットなどで販売されています。

消防庁登録者番号

防 災

登録確認機関名

公益財団法人 日本防災協会



事業所番号

防災製品

(財)日本防災協会

防災品ラベル

火災発生！ そのときあなたは・・・

「火事だ～！！」と大声で近所の人たちに伝えましょう。

早く知らせる

119番通報の要領

- 119番に電話をかける
- 神戸市役所内の神戸市消防局管制室につながり、管制員が応答する

はい、119番神戸市消防局です。火事ですか？ 救急ですか？

- 落ち着いて管制員の質問に答える

住所(大きな目標物)は？

あなたの電話番号は？

あなたのお名前は？



現在の状況は？

■火事の場合

- 何が燃えているか
- 逃げ遅れた人やけが人がいないか
- どれくらい燃えているか など

■救急の場合

- 病人またはけが人の症状
- 年齢・性別 など



※携帯電話からの通報の場合

- 通報後は電源を切らない
 - 管制員が再度電話をすることがある
- できる限り電話を使用しない



早く逃げる

危険を感じたらすぐに避難します。マンションなどの共同住宅の場合、廊下や階段、バルコニーは共用部分であり、いざというときの避難経路になっています。共用部分には物を置かないようにし、いつも整理整頓しておきましょう。また、玄関から出られなくなったときのことを考え、最低2つ以上の避難ルートを確認しておきましょう。

1 つめの避難ルート

普段使っている玄関口から避難しましょう。

2 つめの避難ルート

バルコニーのお隣との間にある仕切板(破壊板)を破り、ベランダに設置された避難ばしごなどを使って避難しましょう。



早く消す

火災は初期消火が決め手です。初期消火のときは、自分の避難経路を確保し、自らの安全を確認してからおこなってください。炎が自分の背丈を超えるほど大きくなった場合は大変危険ですので、初期消火は断念してすぐに避難してください。

消火器の使い方

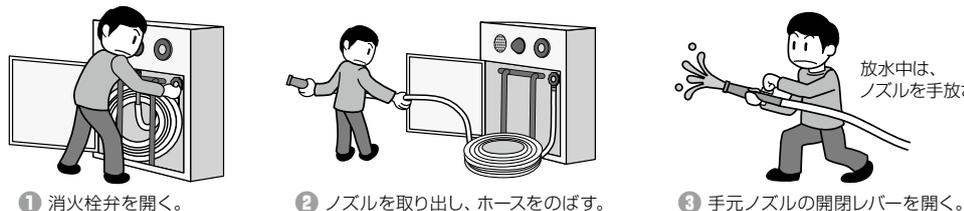


屋内消火栓の使い方

2人以上で操作する消火栓 (1号消火栓)



1人でも操作可能な消火栓 (易操作性1号消火栓・2号消火栓)



※放水訓練をするときの注意点！

- その1 放水中は、ノズルをはなさない(ノズルが動き、負傷することがあります)。
- その2 ホースの折れ、ねじれないように注意する(有効な放水圧力が確保できません)。
- その3 訓練などで使用した場合は、必ず消火ポンプを停止することを忘れない(ポンプは、消火ポンプ室の「消火ポンプ停止ボタン」でのみ停止ができます)。

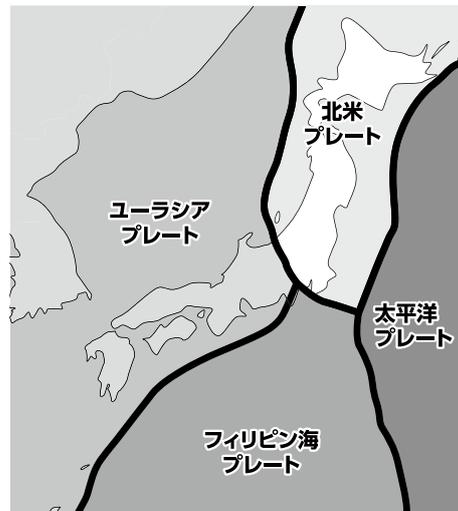
地震対策

日本は世界でも有数の地震発生国です。地震はいつ、どこで発生するか分かりませんので、普段からしっかりと対策をしておくことが重要です。

地震についての正しい知識を身につける

地震大国「日本」

地球は岩石でできていますが、その表面を覆っているプレートはゆっくりと動いているため少しずつゆがみのエネルギーが蓄積され、岩盤にヒビが入り、そして限界に達すると跳ね返ります。これらの衝撃が地表まで伝わり、地盤を振動させて起きるのが地震です。特に日本は4つのプレートがぶつかりあうところに位置しているため、地震が起きやすくなっています。



マグニチュード

マグニチュード (M) とは、地震そのものの規模を表す数値です。震源から出る1回の地震エネルギーの大きさをいい、震源の位置、深さとともに発表されます。

震度

震度とは、ある地点での揺れの大きさを表すものです。日本では0から7の10階級で表しています。一般的には地震の規模 (マグニチュード) が大きくても、震源から離れていれば震度は小さくなります。

震度 0	人は揺れを感じない。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
震度 4	<ul style="list-style-type: none">● ほとんどの人が驚く。● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。● 座りの悪い置物が、倒れることがある。
震度 5 弱	<ul style="list-style-type: none">● 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。● 棚にある食器類や本が落ちることがある。● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
震度 5 強	<ul style="list-style-type: none">● 物につかまらなると歩くことが難しい。● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。● 固定していない家具が倒れることがある。● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

※気象庁による

震度 6 弱	<ul style="list-style-type: none">● 立っていることが困難になる。● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度 6 強	<ul style="list-style-type: none">● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 7	<ul style="list-style-type: none">● 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものがさらに増える。● 耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

活断層

活断層とは、将来活動して大地震を引き起こす可能性のある特定の断層のことです。断層が将来再活動するかどうかは、その周辺の地形や地層の中に最近の地質時代まで繰り返し活動していた証拠があるかどうかで判断されます。日本には約2000もの活断層があり、日本のどこにいても地震を経験する可能性があります。

海溝型地震 (プレート境界型地震)

陸側のプレートと海側のプレートの境界である海溝付近などで発生する地震で、津波発生危険性があります。東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震や、近い将来に発生するとされている*南海トラフ巨大地震などがこれにあたります。

活断層型地震 (直下型地震)

陸側のプレート内部での断層運動によって発生する地震です。海溝型地震に比べてマグニチュードが小さいのが普通ですが、生活の場である内陸部で発生するため、大きな被害がたびたび発生しています。阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震がこれにあたります。

*内閣府「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等 (第二次報告) 及び 被害想定 (第一次報告) について」 (平成24年8月29日) による

地震に備える

すまいの耐震化

あなたの家の耐震性は大丈夫ですか？昭和56（1981）年に、住宅を建てる時に建物の強さを定める基準が大きく変わりました。この年以降に建てられているかどうか、自分の家の強さを知るひとつの目安となります。神戸市では、昭和56（1981）年5月31日以前に着工された住宅は耐震診断を無料で受けることができます。耐震診断の結果で耐震性が低いと診断された場合、耐震改修に係る設計費、工事費に対する補助をおこなっています。耐震改修は、リフォームなどの機会をとらえておこなうと時間や費用の面で効率的です。



家具転倒防止

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊をまぬがれても、室内の家具が転倒、破損したことにより多くの方が尊い命を失い、大けがをしました。「大地震では家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定をしましょう。また、家具の配置を見直すことも大切です。満65歳以上の方、障がい者の方、小学生以下の子どもがいる世帯については、工務店などに依頼しておこなう家具固定に対して、補助をおこなっています。また、防災活動の一環として、地域団体が家具固定に取り組む場合に家具固定専門員を派遣します。

<p>金具で固定</p> <p>L字金具で固定するのが最も効果的です。</p>	<p>ベルトなどで固定</p> <p>転倒防止用ベルトなどで固定します。</p>	<p>つっぱり棒で固定</p> <p>天井がしっかりとしていて家具とのすきまも小さくないと効果が期待できません。</p>	<p>家具の配置を工夫</p> <p>家具が倒れても人にあたらず、ドアが開く場所に配置しましょう。</p>
------------------------------------------------	-------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

■すまいの耐震化、家具転倒防止に関する問い合わせ先

神戸市すまいとまちの安心支援センター（すまいるネット） ☎078-647-9933 [水曜、日曜、祝日除く 10:00～17:00]

感震ブレーカー

地震の揺れを感知した時に、ブレーカーを切って電気を自動的に止める器具で、通電火災を防止する有効な手段です。

グラツときたら

まず、身の安全を守る

あわてて外に飛び出さず、机やテーブル、ベッドなどの頑丈な家具の下にもぐりこみ、落下物などに注意して身の安全を守ります。なお、四方を柱で囲まれたトイレや玄関などは比較的安全です。



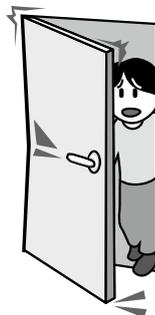
火の始末をする

可能であればすぐに火を消しましょう。火災が発生した場合は、大きな揺れがおさまるのを待ってからすぐに初期消火をおこなってください。



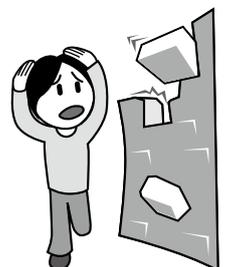
出口を確保する

玄関のドアが変形して開かない場合があるので、揺れを感じたらドアを開けて脱出口を確保しておきましょう。マンションなどではバルコニーからの避難も考えておきましょう。



ブロック塀、崖、川べりに近付かない

地震のあとは、ブロック塀や崖、川べりが崩れやすくなっているので近付かないようにしましょう。



津波対策

※南海トラフ巨大地震発生！ そのとき神戸は？

最大震度6強・全域で5強以上、ゆっくりとした大きな揺れが1～2分以上続く

- 窓ガラスの飛散、家具の転倒
- 建物の損傷、大規模火災
- 液状化やがけ崩れ
- 広範囲にわたるライフラインの供給停止
- 交通機関の寸断、物流の途絶

※内閣府「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）及び被害想定（第一次報告）について」（平成24年8月29日）による



津波のおそれがある場合は速やかに高台か丈夫な建物の3階以上へ

- ・強い揺れや長い時間の揺れを感じたら…
- ・大津波・津波警報が発表されたら…



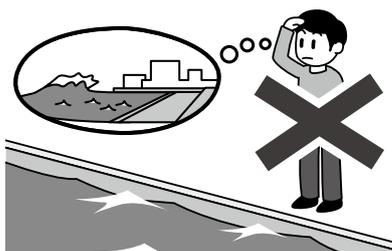
海岸付近にいるときは速やかに高台か丈夫な建物の3階以上に避難



- ・津波注意報が発表されたら…
(揺れを感じなくても)



海岸や河口には絶対に近づかない



- 津波は繰り返し来襲するので警報・注意報の解除までは警戒を続けましょう。
- 落ち着いて、ラジオ、テレビ等から正しい情報を入手しましょう。

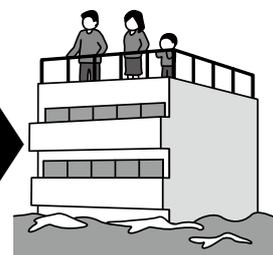
※南海トラフ巨大地震 津波発生時の避難は？

- 津波浸水想定地域にいるときは、予想津波到達時刻より前に津波浸水想定地域の外側に避難します。
- 津波浸水想定地域外の地域にいるときも、念のためできるだけ高い場所に移動します。
- 逃げ遅れたなどの緊急時は、最寄りの丈夫な建物の3階以上へ待避します。
- 津波は何度も来襲し、第1波が最大とは限らないので、津波警報等が解除されるまで避難を続ける必要があります。

津波浸水想定地域の外側へ

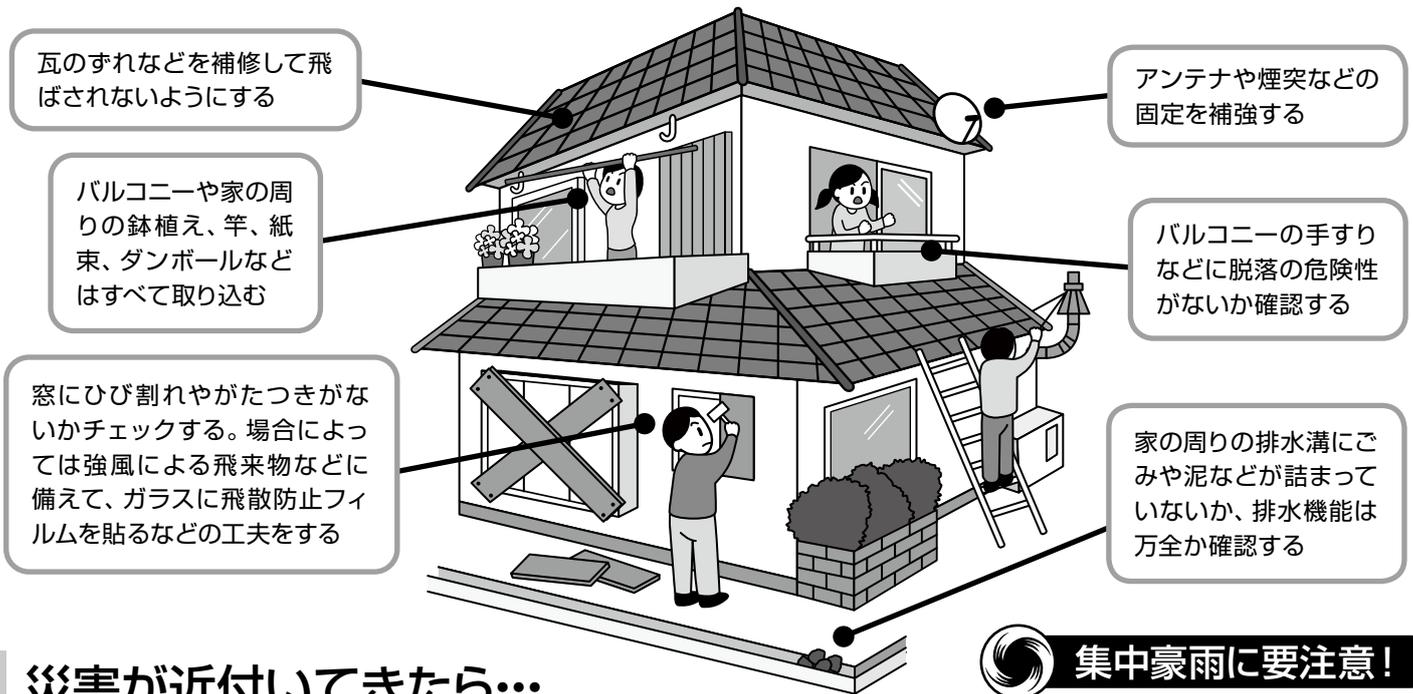


丈夫な建物の3階以上へ



風水害対策

台風・集中豪雨・水害に備える ～早めに安全対策を～



災害が近付いてきたら…

- ラジオやテレビ(データ放送)などで気象情報に注意する
- 外出からは早く帰宅し、家族と連絡をとって非常時に備える
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの用意をする
- 非常持出品を準備しておく
- 飲料水や食料を数日分確保しておく



集中豪雨に要注意!

集中豪雨とは、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことです。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は困難。中小河川の氾濫や土砂崩れ、崖崩れなどによる大きな被害が予想されます。気象情報に十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

土砂災害発生！そのときあなたは！

地域を確認！

土砂災害警戒区域、緊急避難場所などを確認しておきましょう。毎年6月に各戸に配布している「くらしの防災ガイド」やKOBEB防災ポータルサイト「SONAE to U?」で確認できます。

情報を収集！

大雨などの気象情報や避難勧告などの防災情報に注意しましょう。神戸市では、以下の方法で情報を提供しています。

- 防災行政無線、テレビ・ラジオ、緊急速報メール
- ひょうご防災ネット（※ぜひ登録をお願いします）
- 市ホームページ

早めの避難！

危険を感じたら速やかに避難しましょう。土砂災害は、発生する前に前触れがある場合があります。

避難には「緊急避難場所などへの避難」「屋内安全確保」があります。

土砂災害は、緊急避難場所などへの避難が基本です。緊急のときは崖から離れた2階以上の部屋に避難しましょう。

情報の収集方法

気象情報

神戸市降雨情報/レインマップこうべ250
<http://rainmap-kobe250.jp>
神戸地方気象台
<http://www.jma-net.go.jp/kobe-c/home/index.html>
神戸市雨量情報テレホンサービス
TEL:325-3960 747-2159

土砂災害危険度

兵庫県地域別土砂災害危険度
<http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiikidosya/>

ひょうご防災ネットの登録

携帯電話のインターネット機能を利用し、県や市から防災情報を発信しています。

登録方法A

携帯電話のインターネット閲覧機能で
<http://bosai.net/kobe/>にアクセスする

登録方法B

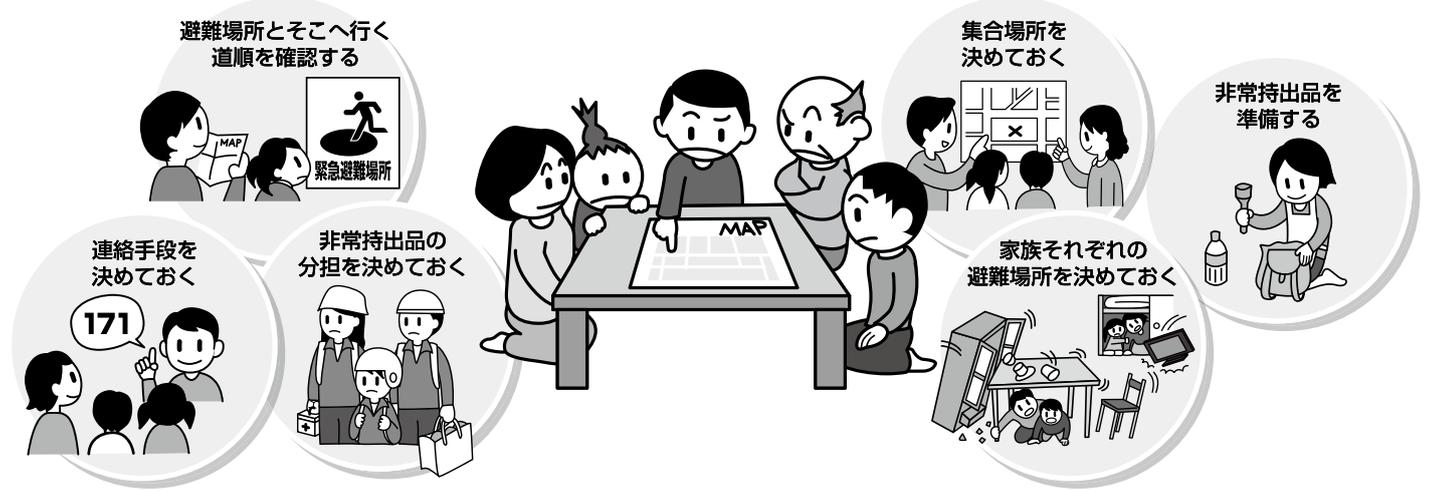
携帯電話のバーコード読取機能で
右記のQRコードを読み込む



防災のポイント

家族会議

家族の防災意識を高めるため、防災会議を開きましょう。定期的な話し合いの積み重ねで、いざというときには適切な行動が取れるようになります。



これら全てを話し合い、家族防災マニュアルを作成しましょう

※最終ページの「防災メモ」も活用してください。

非常持出品

避難時にすぐに持ち出すべき必要最低限の備えで、最初の1日間をしのぐための物品です。

家族構成や個々人の事情によっても必要なものは異なりますので、我が家に必要なものをリストアップし、備えておきましょう。



✓ チェック!

- | | | | |
|-----------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 非常食 (調理不要なもの) | <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ロープ | <input type="checkbox"/> ガムテープ (布製) | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 現金・貴重品 (通帳・印鑑) | <input type="checkbox"/> 救急セット | <input type="checkbox"/> 油性マジック | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵 | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー | <input type="checkbox"/> レジャーシート | <input type="checkbox"/> サバイバルブランケット | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 住民票のコピー | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 | <input type="checkbox"/> 着替え | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 運転免許証のコピー | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 予備メガネ・コンタクトレンズ | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池・電球) | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池) | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ローソク | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 女性用品 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> 高齢者用品 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 万能はさみ | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品 | <input type="checkbox"/> |

※参考URL: 人と防災未来センターホームページ「減災グッズチェックリスト」
http://www.dri.ne.jp/utility/utility_checklist

非常備蓄品

家族が、支援物資が届くまでの3日~7日間程度を生活するための物品です。

家族構成や個々人の事情によっても必要なものは異なりますので、我が家に必要なものをリストアップし、備えておきましょう。

✓ チェック!

- | | | |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料
(調理不要または簡単な加熱程度で食べれるもの) | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 雨具 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 衣服 | <input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> コンロ | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー | <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> 電池 | <input type="checkbox"/> |

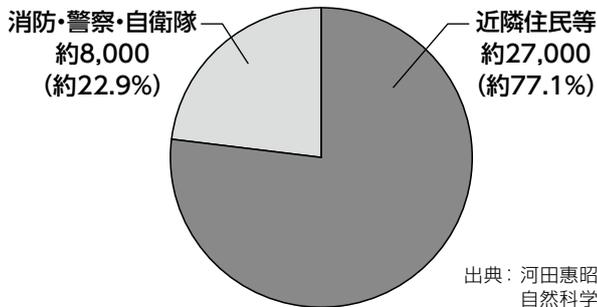


※参考URL: 人と防災未来センターホームページ「減災グッズチェックリスト」
http://www.dri.ne.jp/utility/utility_checklist

自分たちのまちは自分たちで守る ～防災福祉コミュニティ～

阪神・淡路大震災では、震災発生後約14分で54件もの火災が神戸市内で発生しました。それに加えて、建物倒壊などにより救助を求め人たちも多数発生しました。

■阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典：河田恵昭(1997)「大規模地震災害による人的被害の予測」自然科学第16巻第1号参照。ただし、割合は内閣府追記。

大きな災害が起こったときには消防機関だけでは対応が困難になります。

「自助」(自らの命は自らで守る)、「共助」(自分たちのまちは自分たちで守る)の精神がとても大切といえます。普段から隣近所のつながりを作り、みんなで神戸のまちを守りましょう。



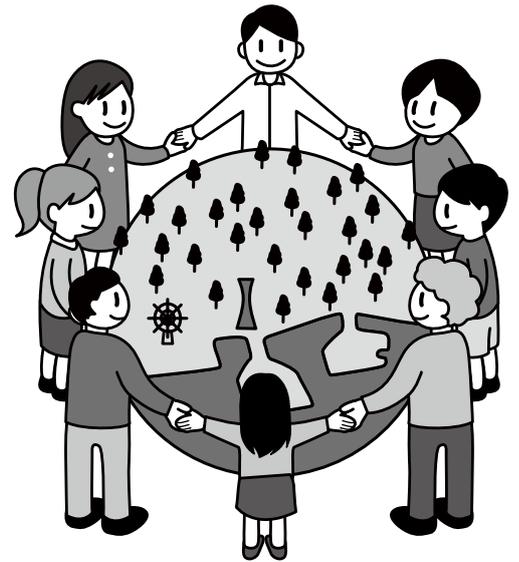
地域の防災訓練に参加する

神戸市では概ね小学校区単位で防災福祉コミュニティが結成され、活動しています。

いざというときのために、地域の防災訓練に参加して初期消火や安全な場所への避難、応急手当の方法などを学びましょう。防災福祉コミュニティの実施する訓練は神戸市ホームページ内に掲載しています(下記参照)。

神戸市 防コミ

検索



地域のつながりを作る

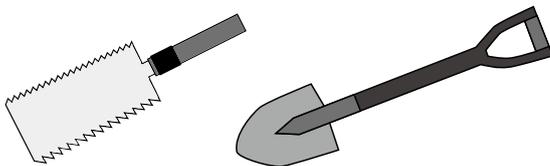
防災訓練への参加だけでなく、地域の行事に参加したり、毎日あいさつをするなど普段から隣近所とのつながりを作っておきましょう。



知っていますか？ あなたのまちの防災資機材庫

災害発生時の救出活動で使用する小型動力ポンプやジャッキ、スコップ、のこぎりなどの防災資機材が各地域に配備されています。これらの資機材は、公園や学校などにある防災資機材庫に保管されています。

あなたのまちの防災資機材庫の場所を確認しておきましょう。



防災資機材庫の鍵は、公園などの近くにお住まいの防災福祉コミュニティ役員が保管し、使用時に開錠することになっています。



防災メモ



消防
119番



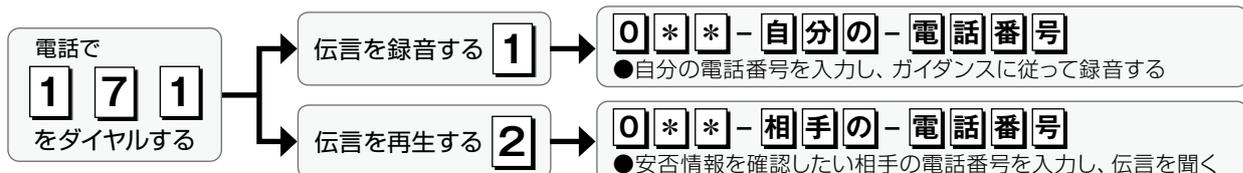
警察
110番



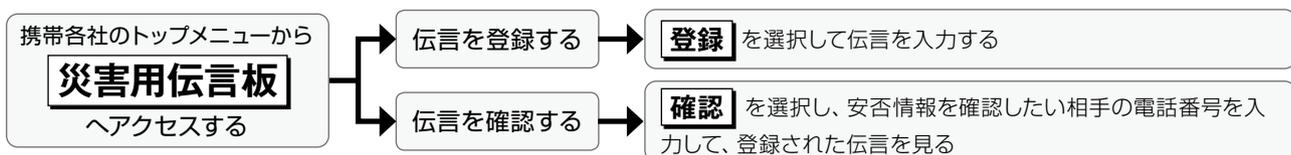
災害用伝言ダイヤル
171番

〇〇避難所に避難しています

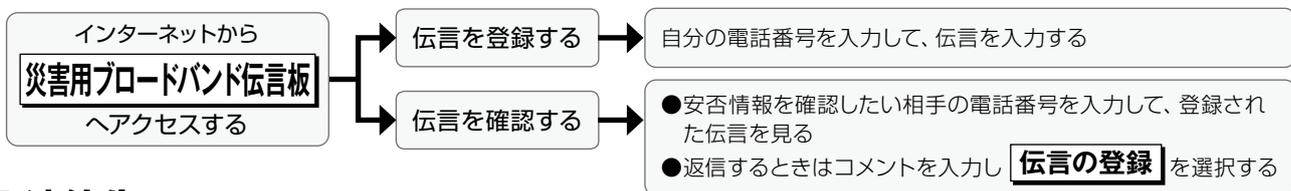
災害用伝言ダイヤル 171 固定電話・携帯電話・公衆電話



災害用伝言板サービス 携帯電話



災害用ブロードバンド伝言板 web171 パソコン・スマートフォン



■ 連絡先

神戸市総合コールセンター **0570-083330** 又は **078-333-3330**

■ 避難場所

避難場所	家族との集合場所
------	----------

住宅用火災警報器の割引などが受けられる制度について

住宅火災警報器の購入を検討される場合には、住宅用火災警報器普及協力事業所として登録している事業所で購入すると、事業所ごとに住警器購入費用や取付け費用の割引などの特典を受けることができます。

その際は「しらすちゃんクーポン」が必要ですので、下記ホームページからダウンロードして印刷し、ご提示ください。

神戸市消防局 しらすちゃんクーポン